

学習指導案(教科:英語科)

1 授業内容

科目:英語表現Ⅱ

単元:Lesson● 関係詞

2 本時の指導計画と評価方法

(1) 単元の目標

関係詞の文中におけるはたらきを「関係代名詞・関係副詞」、「継続用法・限定用法」の区別を軸に理解し、実際に表現の過程で使用できる。

(2) 本時の目標

「関係副詞」の文中における役割を理解できる。また、「関係代名詞」との関連や差異を理解できる。

(3) 本時の評価規準

(関心・意欲・態度) 自分の意見を英語でまとめ、工夫して表現しようとする。

(思考・判断・表現) 適切な関係代名詞を使用して、英文を作ることができる。

(知識・理解) 「関係代名詞」と「関係副詞」の文中におけるはたらきとその違いを、理解できる。

(技能) 関係代名詞について、「格」の概念を理解し、適切な関係代名詞を使用できる。また、関係副詞への導入として、修飾節における前置詞の脱落や、副詞の概念が理解できる。

(4) 本時の展開

時間	指導の内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 (10分)	<p>Review</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テストの実施 <p>・解答の確認と補足説明 本時の文法「関係副詞」の前提知識を喚起する。</p> <p>Introduction</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例文の提示 →関係副詞の種類を整理し、代名詞との違いについて自ら考えさせる。 <p>・本時の目標の提示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の既習事項「関係代名詞」の復習として小テストに取り組む。 →ClassPad.netからURLを送信。 google formで小テストを実施。 →各問の正答率をformで即座に確認し、正答率の低い問を解説する。 ・スライドを用いた教員の解説を聞く。 ・各自、自身のテスト結果を確認し、誤答や疑問点があればノートや資料を見直す。 ・ClassPad.netのテキストを用い、関係副詞を用いた例文を提示する。 【例文】 I know the town where my grandfather was born. The day when we left for Europe was cold. ・本時の目標を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の理解度を確認する。 ・小テスト後半は本時「前置詞＋関係代名詞」に関連するので、重点的に解説する。 <p>評価【知識・理解】 関係代名詞について、既習事項を理解している。</p> <p>本時の目標:「関係副詞」の文中における役割を理解する。また、「関係代名詞」との関連や差異を理解する。</p>
展開 (35分)	<p>Presentation</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク (英作文の発表) →本時の文法の前提となる知識を確認する。 <p>文法説明 →前置詞+which = 関係副詞を理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアを組み、前時の課題であった「前置詞＋関係代名詞」を用いた英作文を会話形式で発表する。 【課題】 A: Do you know the town in which... B: Yes, I know the town in which... ・教員の発問を通じて、「関係副詞」の例文との類似について考える。 ・教員のスライドを用いた「関係副詞」の文法解説を聞き、必要な文法知識をノートに書き込む。 →テキストを用いて、関係代名詞と関係副詞を正しく使い分ける上で必要な観点(動詞の語法や関係詞節の文構造など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話は相手が作成した関係詞節を復唱する形式で行う。前置詞の位置について説明を付加する。 <p>評価【関心・意欲・態度】 積極的に活動に参加している。</p> <p>評価【技能】 関係代名詞について、「格」の概念を理解し、適切な関係代名詞を使用できる。</p> <p>評価【思考・判断・表現】 適切な関係代名詞を使用して、英文を作ることができている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この時点で「関係副詞」の例文との互換性に気づくことができるとよい。発問を通じ思考させる。 <p>評価【知識・理解】 「関係代名詞」と「関係副詞」の文中におけるはたらきとその違いを、理解できる。</p> <p>評価【技能】 関係副詞への導入として、修飾節における前置詞の脱落や、副詞の概念が理解でき</p>

	Exercise ・問題演習と課題の提示 →本時の文法問題に取り組み、理解を深める。「関係代名詞・関係副詞の区別」を意識づけする。	<u>を、実際に問題を解きながら説明する。</u> ・「 <u>関係副詞と関係代名詞</u> 」問題演習に <u>取り組む。</u> → <u>ふせん機能</u> ・教員の解説を聞く。 ※(演習を終えた場合)次回までの課題に先行して取り組み、授業終了までに完了した場合、提出する。	る。 ・先行して終えた生徒のために、次回までの課題を予め指示する。
まとめ (5分)	Closing greetings ・まとめ	・教員によって伝達された課題の内容を確認する。 【課題】 ・テキスト「 <u>関係副詞</u> 」問題演習 ・「 <u>関係副詞</u> 」を用いた例文を、辞書を用いて参照する	・再度課題を伝達する。

(5)ICT活用計画

ICTを主に活用するのは、導入のReviewからIntroductionまでの部分である。前時「関係代名詞」の復習として小テストを実施し、その結果に基づき補足説明と、本時「関係副詞」への前提知識の確認に使用する。

(手順)

- 1 教員は生徒全員に対し、小テストを配布する。
ClassPad.netからURLを送信。google formで小テストを実施。
- 2 全員が受検し終わるまでに、正答率の低い問題を確認する。
google formの正答率分析を参照する。
- 3 正答率の低い問題と本時の導入につながる「前置詞＋関係代名詞」を解答とする問題を解説する。
ClassPad.netのテキストふせんを用いて問題を提示し、タブレットで書き込みながら解説する。
スライドをホワイトボードに移し、生徒に共有する。
- ④ 本時の文法項目である「関係副詞」を含む例文をスライドで確認。
ClassPad.netのテキストふせんを用いて、関係副詞を用いた例文を提示する。

(ClassPad.netを活用する効果性について)

- 1 テスト実施から返却までの時間短縮が図れ、生徒自身が即時的に結果と解説を得られることから、学習の定着率の向上を期待できる。
- 2 板書やプリントの配布の時間を減らすことができ、より効率的に授業をすすめることができる。